

質問・要望	回答
<p><b>【幸田町の人口増に対応する老人福祉施策について】</b></p> <p>人口増と団塊の世代が75歳になる2020年以降の老人福祉に対応する、老人介護施設や介護人員の対応。</p> <p>介護を必要とする年齢を遅くする健康寿命対策、認知症対策を行って、医療費の増大を抑える施策はありますか。</p>	<p><b>福祉課：</b>介護施設につきましては、平成27年度に町内に3か所目の特別養護老人ホームができました。今後の施設計画としましては、介護老人保健施設の誘致を検討しています。介護人員の対応につきましては、現場の介護職員の処遇改善を促してまいります。</p> <p>健康寿命対策、認知症対策につきましては、各種検診の推進、病気の早期発見、早期治療、それから、介護予防施策の実施、拡大とともに、シニア・シルバー世代の活躍の場を創出し、退職後の資格取得支援など会社から地域へと移行できるように、マッチングをサポートしてまいります。</p> <p><b>町長：</b>老人保健施設の誘致を検討しています。まだ具体案はお示しできませんが、平成32年の藤田医科大学岡崎医療センター開院に合わせて老人保健施設を幸田町につくりたいとお願いしています。</p> <p>また、介護を受ける期間を短くし、長く元気で暮らしていただきたいと思っています。シルバー人材センターには、60歳以上で加入できますが、せっかくの技能・経験を生かしていないように思います。登録しても仕事の数が足りていません。シニア・シルバー世代のサポートセンターという名前で来年度以降そういった場をつくっていきたいと考えています。施設入所もでき、地域での見守りもあり、在宅介護の相談窓口もあるなど、選択肢を広げるような形で施策の展開をしたいと考えています。</p>

質問・要望	回答
<p><b>【介護保険事業について】</b></p> <p>町内の各事業所の町内利用者数と町内待機者数の現状はどのようになっていますか。また、今後の介護保険施設充実の予定をお聞かせください。</p> <p>一方で、介護保険施設を充実させると介護保険料が値上がりするとも聞いています。介護保険料額が10年前からどのように推移したのか。また近隣市町と比較してどうか。</p>	<p><b>福祉課</b>：特別養護老人ホームの定員が3施設で270人になります（別紙 資料1参照）。つづじヶ丘の待機者152人は更新がされていません（すでに亡くなられた方も含む）。ほかの施設の状況から推測すると、実際は50～60人程度ではないかと推測されます。なお、待機者数の中には、すぐに入所したい方と、今はいいが今後必要になるのであらかじめ申し込んでおくという方も含まれているということです。また、それ以外の入所施設としましては、認知症対応型の入所施設であるグループホーム、有料老人ホームなどがあります。それから、家庭の状況によっても入所の緊急性は違いますので、どうしてもすぐに入所が必要だという相談があった場合には、近隣の施設も含めて情報提供をしています。なお、今後の人口減少を見込んで、特別養護老人ホームは、国県単位でベット数の制限ルールがあります。特別養護老人ホームを新たにつくることは難しいですが、介護老人保健施設はまだ100床分の余裕がある状況です。</p> <p>次に、介護保険料につきましては、県内の自治体では低い方から3番目となっています。介護保険料は3年に1回の見直しを行っており、現在が第7期となっています。今後、設備や施設が増えると保険料が上がる可能性があります。</p> <p><b>町長</b>：介護保険料は自治体によって違っており、施設の充実度に影響されるということがあります。施設が増えると介護保険料も上がるということで、また、ベット数の制限もあり、簡単にたくさんつくれるものでもないということです。第7期介護保険事業計画の中で位置付けています。</p>

## 資料1 介護保険事業について

### 町内各事業所の町内利用者数と町内待機者数について

町内の介護保険の事業所は、訪問介護事業所（ヘルパーを派遣する事業所）やデイサービス事業所など多数ありますが、入所施設は、特別養護老人ホームが3か所（まどかの郷、つつじが丘、メリーホーム幸田）、グループホーム（認知症対応型共同生活介護）が2か所（おり姫、おり姫2）あります。その他、有料老人ホームが3か所あります。

特別養護老人ホームの待機者数は、以下のとおり把握しています。グループホームについては、待機者はいない状況（平成30年11月8日現在）と把握しています。有料老人ホームの待機者数は、町では把握していません。

特別養護老人ホーム名	定員（床）	町内の方の入所者数 （平成30年8月利用状況）	町内の方の待機者数 （平成30年4月1日現在）
まどかの郷	80	47	49
つつじが丘	90	51	152 ※申込待機者延数
メリーホーム幸田	100	33	31

### 今後の介護保険施設充実の予定

平成8年にまどかの郷、平成17年につつじが丘、平成27年に町内3か所目の特別養護老人ホーム「メリーホーム幸田」が開所されました。今後は、医療機関での治療を終えた方の早期在宅復帰を目指し、リハビリや介護が受けられる「介護老人保健施設」の誘致を検討しています。

### 10年前の介護保険料の比較、近隣市町との比較

平成20年の幸田町の月額基準保険料は、3,200円でした。現在の月額基準保険料は、4,300円で、1,100円の増加となっていますが、保険料の比較では、近隣市では、岡崎市が5,390円、西尾市は5,200円、蒲郡市（東三河広域連合）は5,073円、町では、東郷町が4,997円、武豊町は4,964円です。

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【幸田町の人口増に対応する教育施策】</b></p> <p>ここ数年、幸田町の人口が増え続けていることは良いことですが、若い家族の流入が多く、それに伴い小中学生が増え、教室や先生の不足が表面化しています。ただし、また近い数年後には、頭打ちになって余剰になってくると思われる。</p> <p>これらの事から保育園～中学校の教育についてどのように対応していく計画でしょうか。</p>	<p><b>学校教育課：</b>児童生徒数の増加につきましては、校舎の増築、内部の改造で対応をしています。また今後、ピークを迎えた後は、減少する見込みとなっています。増加傾向である現在は、増築、改造による量の充実を行い、その後、空き教室となった普通教室を特別教室として活用するなど、教育の質を充実する方向に転換することを考えています。</p> <p>教員数については、学校のクラス数、生徒数、特別な支援が必要な子どもの数に応じて県から必要数が配分されています。また、幸田町の予算で独自に雇用している教員が30人います。</p> <p><b>こども課：</b>保育園につきましては、平成28年度から幸田あけぼの第二幼稚園が幼稚園型認定こども園化、平成29年度には、幸田みやこ認定こども園の開園、認可外保育施設であったリトルラビット保育園の認可を行うなど、保育の充実を図っているところですが、今年初めて待機児童10人（未満児）が発生している状況です。</p> <p>来年4月に向けて、事業所を誘致しているところです。現在、2つの事業所からお話があり、1か所は開所ができる予定です。定員が15人程度ということで、現在、待機となっている人数については、解消できる見込みです。保育園の運営につきましては、保育士が不足しているのが現状であり、広報や回覧で募集していますが、それでも足りていない状況です。</p> <p><b>町長：</b>区画整理の進展による人口増に対応しているところですが、一方で減少している地域もあります。町全体として、現在は増加していますが、将来的には減少する見込みであり、対応に苦慮するところです。また、保育園スタッフの不足、募集をしても集まらないという状況と、待機児童も発生している状況について説明させていただきました。</p>

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【延長保育の時間延長と小学校の児童クラブの定員拡大】</b></p> <p>保育園も小学校も延長保育や放課後児童クラブというシステムがあり、夕方6時まで子どもを預けられたり、夏休みなど、長期休業の時も預かってもらえたりでき、昔と比べると大変手厚い支援が受けられるようになったと思います。しかし、保育園の延長保育は6時までで、勤めを終えてぎりぎり間に合わせている人も多いと聞いています。もう1時間延ばしてもらうことはできないでしょうか。また、放課後児童クラブは、定員数が決まっているということで、希望者が多いと抽選になり入れない事もあると聞いています。職員の配置等で難しいと伺っていますが、子育てしながら女の人が仕事を続けていくには、公の力がどうしても必要です。延長保育の時間延長と小学校の児童クラブの定員拡大をぜひお願いします。</p>	<p><b>こども課</b>：延長保育の時間延長につきましては、保育士不足で時間の延長ができないのが現状です。保育士の確保ができれば、検討していきたいと考えています。</p> <p>児童クラブの定員拡大につきましても、児童クラブのスタッフが不足しており、こちらも広報、回覧で職員募集をしている状況です。また、児童クラブを開設する場所につきましても、学校外に設置するとそこに行くまでの引率者が必要となるため、安全面も考慮して学校の敷地内で考えています。平成26年度から毎年1か所ずつ増設しており、本年は幸田小学校で1か所増設しました。来年度は、1か所増設のための工事を予定しています。定員内で優先順位を考慮して運営しているのが現状です。</p> <p><b>町長</b>：児童クラブや保育園に視察に行っていますが、十分でないことは理解しています。また、後ほどの質問の中で、補足していただく質問があれば、ありがたいです。</p>
<p><b>【児童クラブについて】</b></p> <p>児童クラブについて、祝日はやっていただけないでしょうか。トヨタ関係に勤めている方で、近くに両親がいない方は困っていると話を聞くことがあります。</p>	<p><b>こども課</b>：場所の確保、人員の確保が難しく、現在は実施していません。いただいた意見を参考に今後、考えていきます。</p> <p><b>町長</b>：場所と人材の関係で祝日の開設まで及んでいないのが現状です。需要・要望としてはあると思います。近隣の状況も聞きながら、モデル的に取り組んでいけたらいいなと考えています。</p>

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【老人福祉について】</b></p> <p>老人福祉について、一人暮らしや認知症の高齢者を対象に、訪問活動や出掛けられる場所を設けるなどの事業は実施していますか。</p>	<p><b>福祉課：</b>現在、社会福祉協議会がいきいきサロンを各地区で実施しています。今後は、地域で出掛けられる場所をつくるのが総合型事業の中で課題となっています。現在、進めていますのが、お達者体操という体操です。歩いて出掛けられる場所に介護予防の拠点をつくっていききたいと考えています。民間のサービスの活用も含めて協議している段階です。</p> <p>そして、一人暮らしの高齢者への訪問活動は、現在、民生委員や老人クラブ、消防署が実施しています。しかし、十分ではありませんので、高齢者の相談機関である包括支援センターを中心に、見守りを行っていききたいと考えています。</p> <p><b>副町長：</b>一人暮らしの高齢者訪問につきましては、老人クラブの会員による友愛訪問と民生委員による訪問を行っており、給食（配食）サービスによる安否確認を行っています。今後は、郵便配達、ヤクルト配達などによる安否確認などの利用も考えられます。</p> <p><b>福祉課：</b>介護予防の取組状況について、高齢者のための出掛ける場所づくりとしまして、げんきかいを町内6か所で開催しているほか、お達者体操や脳の健康教室などを開催しており、地域に広めていききたいと考えています。なお、今年度から在宅介護支援センターがなくなり、高齢者の実態把握につきましては、地域包括支援センターが行うようになりましたが、全体を網羅するには至っていないのが現状です。</p>

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【児童クラブについて】</b></p> <p>児童クラブについて、高学年になると行きたくないとの声があったり、いじめがあるというようなことを聞きます。受け入れの拡大も大事ですが、中身の充実も検討していただきたいです。高齢者の活躍の場というお話がありましたので、たとえば、高齢者の方と将棋などの遊びを通して交流できる場が学校内にあるといいと思います。また、名古屋では民間の学童施設があり、習い事や送迎サービスを実施しているところもあります。そういったものが幸田町にもあるとありがたいです。</p>	<p><b>こども課</b>：高学年で来ない子どもがいることは聞いています。一方で、入会を待っている方もいますので、1か月来ないようであれば、退会を勧めているのが現状です。また、内容につきましては、ブロック長の会議を1か月に1回行い、問題点、改善点の汲み取りを行っています。いじめの問題については、注意を促していきます。</p> <p><b>学校教育課</b>：地域の方を先生としてお迎えすることは、授業の中では行っています。児童クラブでの交流につきましては、深溝小学校はコミュニティの部屋があるので、交流の場として活用できるかと思いますが、今後、児童数が増えてくると場所の確保が難しくなります。また、ほかの学校には、現状でそういった場所がありません。そのため、常駐は難しいですが、児童クラブの中に入れていただく方法はあると思いますので、学校、こども課と連携して考えていきます。</p> <p><b>町長</b>：地域での交流、多世代の交流、いろんな交流の場として多世代交流施設「豊坂ほっと館」が4月に完成しました。今後、幸田学区、坂崎学区に児童館をつくることを考えています。多世代が交流できることをやったらおもしろいと思います。</p> <p>そして、今後、働き方改革も進めていく必要があります。それぞれの方の生活設計に合わせた子育て施設が求められます。民間の誘導もしていきたいと考えています。</p>
<p><b>【保育所について】</b></p> <p>民間の保育所が増えてきているのか。今後、具体的に増える見込みがありますか。</p>	<p><b>こども課</b>：民間の保育所としましては、野場に「リトルラビット保育園」、鷺田に「たっちっちハウス」があります。荻には、認可外のもの木保育園があり、認可に向けて進めているようです。また、2つの事業所から新しい保育施設の話があります。1つは名古屋で営業している事業所で、もう1つは老人の施設を運営している事業所で、その施設に併設する形で開設できないかということで話があります。</p>

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【大日蔭グラウンド・ゴルフ場について】</b></p> <p>大日蔭グラウンドのトイレが少ないです。熱中症で運ばれた方がいたのですが、トイレを気にして水分補給を我慢していたようです。大きな大会など、多くの利用者が集まる時には、仮設トイレを増設してもらっていますが、高齢者は簡易トイレを利用したがりません。それから、座るところも少ないので、長いベンチがあると良いと思います。</p>	<p><b>町長</b>：いろんな方々に使っていただいています。もう1か所トイレをつくった方がよいという要望をいただいています。利用改善ということで考える予定でいます。</p>
<p><b>【信号機について】</b></p> <p>桐山西の信号について、幡豆から下りてくる車が多く、朝は右折の車が多く待っています。信号の時間を調整することはできないでしょうか。</p>	<p><b>企画政策課</b>：信号機のサイクルタイムは実態調査をして、公安委員会で決めています。随時変える方法もあり、国道23号バイパスの芦谷インターはそのようになっており、名古屋の管制センターで操作しています。現場を見ていただく必要があります。要望はさせていただきます。</p> <p><b>町長</b>：時間の調整は可能ですが、時間設定の基準があると思います。一度確認します。</p>
<p><b>【保育園について】</b></p> <p>認可保育園と認可外保育園では何が違いますか。</p>	<p><b>こども課</b>：部屋の広さ、数、保育士の人数など複数の項目について国の基準を全て満たし、届出をして国の認可を受けているものが認可保育園、その認可を受けていないものが認可外となります。認可外のところにつきましては、単純に基準を満たしていないということではなく、いろいろな保育の方針に基づいて運営しており、国の認可基準よりも独自の方針を優先し、保育を行っているところもあります。</p>

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【道路について】</b></p> <p>信号機の渋滞についてですが、岩堀のフィール周辺に家が増え、朝の通勤時間帯になると、消防署の前から菅田の交差点に向かう道路で、右折帯は無いが右折する車と直進する車が2列に並んでいる状態で危険だと感じています。駅周辺の道路状況を把握してほしいです。</p> <p><b>【介護について】</b></p> <p>祖母が介護保険のデイサービスを利用していますが、最近、事業所を変えました。変えた原因は、利用していた事業所のサービスに問題があったからです。町のホームページにも載っている事業所だったので利用していましたが、町として現場のチェックなどはできないのでしょうか。</p>	<p><b>企画部長</b>：菅田の交差点、駅に向かう道路（県道岡崎幸田線）について、現状は把握しています。解消策としては右折帯を新たに設けることが一番ですが、それには用地の確保が必要となるため難しく、時間もかかります。それ以外の対策を建設部で検討しているところです。</p> <p><b>町長</b>：人口が増えたことにより、渋滞も増えています。改善には10～20年といった長い期間が必要となります。計画を持って臨んでいます。用地交渉などは時間がかかります。安全対策など、できることから徹底していきます。</p> <p><b>福祉課</b>：御指摘がありました事業所の指定、指導は県になりますので、苦情として町から県に報告を上げていくこととなりますが、重大案件であれば、町からも直接、事業所に状況確認をさせていただきます。</p>
<p><b>【シルバー人材センターについて】</b></p> <p>シルバー人材センターについて、草刈りの人をよく見掛けますが、登録の内容は細かくなっているのですか。</p>	<p><b>福祉課</b>：シルバー人材センターで登録していただく時に、希望する職種などを登録していただいています。</p> <p><b>町長</b>：質問の要旨は、身に着けた技能などが活用されているかということだと思います。空き家が増えているので、それを活用し、いろいろな技能を持った方に改造していただき、復元してみたいと思っています。これまでに身に着けた技術が生きるということです。シルバー・シニアサポートセンターでやってみたいと考えています。</p>

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【中学校の部活動について】</b></p> <p>部活動について、冬季の授業時間が45分から50分になり、幸田中学校は部活動がなくなったが、南部、北部中学校は授業以外の部分を短縮して、部活動の時間を捻出したと聞きました。3中学校で差が出てしまい、部活動がやりたい生徒や親は残念だと思います。</p> <p>部活動の練習時間が減ると、試合や大会で勝てない。練習が足らず、各自で自主練習などを行っているのが現状だと思います。</p> <p>先生の負担を減らすという意味では、外部指導者を導入することはできませんか。高校に入るときに部活動の成績が内申点にも影響します。</p>	<p><b>学校教育課</b>：本来の授業時間である50分に戻しました。それにより、幸田中学校は11月から1月は部活動中止となりました。北部、南部中学校は授業以外の部分で時間を削り、部活動の時間を30分確保したということです。3中学校で対応が違ってしまったのはよくなかったと思っています。今年度、途中で変更することはないと聞いていますが、来年度は3中学校で足並みを揃える形にするべきだということで話をしています。</p> <p>部活動に対しては、部活動を優先してほしい方、家族の時間を優先したい方など、いろいろな考えをお持ちの方がおみえです。基本的な方針としては、文部科学省から部活動のやり過ぎが子どもの成長及び健康に影響があるという見解が示されたことにより、縮小の方向です。朝練の実施についても今後、検討しますが、中止の方向が全体の流れです。3中学校で足並みを揃えて進めていきます。</p> <p><b>町長</b>：賛否両論ありますが、働き方改革もあり、時代は部活動の時間を調整する流れです。</p> <p><b>学校教育課</b>：部活動は月・木曜日が朝夕とも休み、そして、土日のどちらか休みという運用をしています。今後、朝練が中止になった場合は、全体の量について見直しを検討します。大会を岡崎・幸田で行っており、足並みを揃える必要もあります。保護者の思いも分かれる問題です。</p> <p>子どもの健康上、発達上問題があるというのが第一であり、その観点から量の制限をするというものです。外部指導者は可能です。</p>

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【健康寿命について】</b> 健康寿命を延ばすのは、具体的に何歳ぐらいとありますか。</p>	<p><b>福祉課</b>：寿命と健康寿命の開きを縮めることを目的としており、何歳というものはありません。</p>
<p><b>【児童クラブ・保育園の申込みについて】</b> 児童クラブの申込みについて、郵送ではできませんか。 保育園の入園申込み、児童クラブの申込みで就労証明を何度も取りに行って大変だったので、時期を統一してもらえるとありがたいです。</p>	<p><b>こども課</b>：受付時に聞き取りをさせていただいています。優先順位を判定する必要もあり、記載内容の確認をさせていただいています。 10月に保育園の説明会、11月に児童クラブの申込みということで合わせているつもりでしたが、今後また考えてより良いものにしていきます。</p>

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【道の駅の名物】</b></p> <p>幸田の道の駅に行ったら〇〇がおいしい、というような看板商品ができるとよいと思います。幸田の道の駅はトラックが多く止まっています。例えば、レストランに逆川の養豚場の肉を使った厚切りトンカツなど、インパクトのあるメニューを作ってみてはどうでしょうか。食べ物がおいしいところに多くのお客さんが集まります。幸田の道の駅をもっと盛り上げたいです。</p>	<p><b>産業振興課：</b>御提案ありがとうございます。道の駅としましても従前から同様な検討を重ねており、看板メニューを手掛けています。夏には姉妹都市提携をしている長崎県島原市の「島原そうめん」を使った「島原そうめんデラックス」を新メニューとして販売しました。</p> <p>また、本年10月から「夢やまびこ豚」を使用したトンカツを考案し、道の駅の従業員や役場職員等で試食会を開催し、11月7日から「やまびこ豚カツ定食」として新メニューを販売しています。是非とも一度、御賞味ください。</p> <p>住民に対するPR不足と感じられますので、今後、町としてもPR方法のアドバイスをしていきます。</p> <p>新メニューに対する感想やPR方法につきまして、助言をいただけると助かります。今後も、道の駅の活性化に御協力をお願いします。</p> <p><b>町長：</b>私も大賛成です。地元の豚肉、野菜、果物、お米、おいしいものがたくさんあります。地産地消につなげたいと思います。役場の中にある食堂で、考案したレシピの試食をして、評判が良いものを道の駅などで出していきたい、商品開発していきたいと考えています。生産者の方たちにも喜んでいただけたらと思います。</p>

質問・要望	担当課の回答
<p><b>【広報の全戸配布】</b></p> <p>イベントや教育、福祉に関しても、皆さんへの周知に「広報こうた」が活用されていると思います。私は、広報は町民全戸配布だと思っていましたが、届いていない所があると聞きました。理由としてはマンションの方で区費を負担していないからということでした。届いていないマンションの方たちは、毎月広報がほしいと言っていました。広報の全戸配布は難しいのでしょうか。</p>	<p><b>企画政策課</b>：広報の配布につきましては、各行政区の区長さんをお願いをして、区内にお住いの皆さまに配布していただいています。そのため、区に加入していない一部のお宅、マンションなどの集合住宅には、配布がされていないところがあります。</p> <p>町からの情報が掲載された広報紙が届いていない現状は、問題であると認識していますが、一部マンション等に直接配布をする方法を取ることは、各区の区長さん及び役員さんたちの協力で配布していただいていることとの公平性を考慮して実施をしていません。</p> <p>そのため、区に加入しておらず広報が届かないというお問合せに対しましては、役場や町民会館等の公共施設、JRの3駅、御協力をいただける一部スーパー等に配布用のものを設置させていただいていることを御案内するとともに、町ホームページ上に広報の紙面データを掲載し、そちらからも御覧いただけることを御案内させていただいています。</p> <p>広報配布場所：役場、中央公民館、町民会館、図書館、町民プール、道の駅、JR幸田駅、JR三ヶ根駅前休憩所、JR相見駅、ドミー幸田店、スーパーセンターオオクワ幸田店、マックスバリュ幸田店</p>